

# 公益財団法人 神奈川県下水道公社 職場案内パンフレット



令和6年度



# 神奈川県下水道公社とは？

相模川および酒匂川流域の市町から下水を受け入れ、広域処理するために神奈川県が4つの処理場と9つのポンプ場を設置しました。この施設の運転・維持管理等を目的として、昭和55年5月に「財団法人 神奈川県下水道公社」が設立されました。平成23年4月には公益財団法人に移行し、現在は次の公益目的事業を行っています。

- ①相模川・酒匂川流域下水道の処理場施設等の運転操作等維持管理業務
- ②上記の業務と一体となって実施する改築業務
- ③市町村の実施する下水道における維持管理業務等の技術的業務
- ④下水道知識の普及・啓発活動及び下水道の研修
- ⑤汚水及び汚泥の処理方法についての調査・研究

## 部署の紹介

### 総務部

#### 総務課

- 主な業務
- 人事・給与
  - 予算・決算
  - 契約事務
  - 人材育成・技術継承 他

#### 企画課

- 主な業務
- 評議員会・理事会
  - 下水道知識の普及・啓発
  - 下水道技術者の研修
  - 経営戦略・経営改善 他

### 業務部

#### 業務課

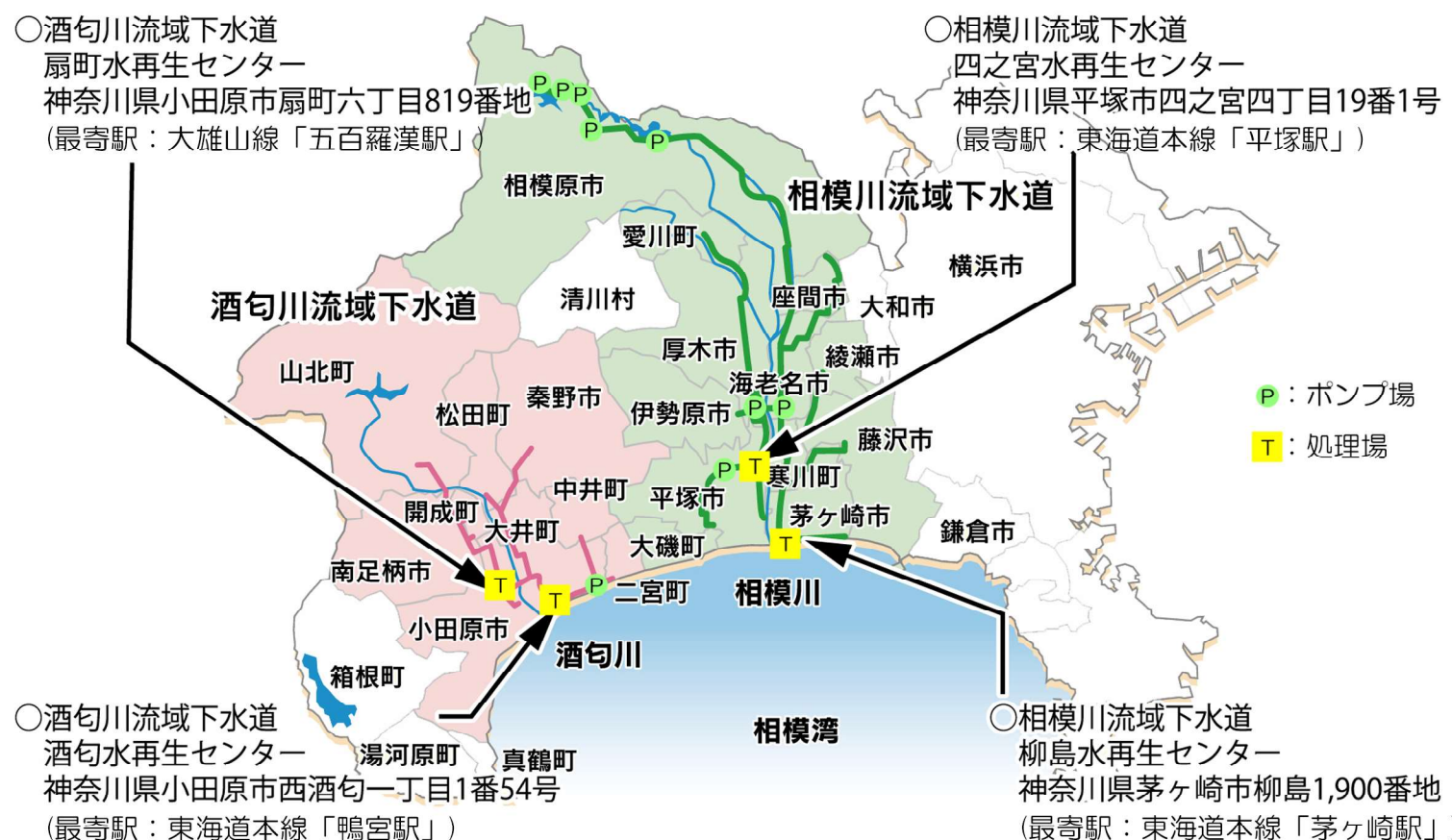
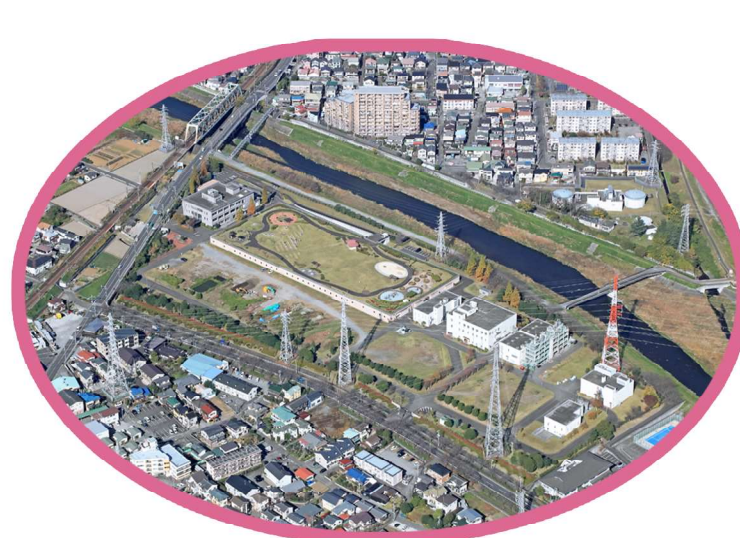
- 主な業務
- 各水再生センターの総合調整
  - 下水道幹線などの施設の管理
  - 汚泥等の処分に関する総合調整
  - 災害対策 他

#### 水質課

- 主な業務
- 水質管理・環境対策
  - 市町村等への技術支援
  - 水質の分析
  - 調査研究 他

#### 水再生センター

- 主な業務
- 下水処理施設の運転操作などの管理
  - 各施設の保守管理
  - 水質及び汚泥等の分析
  - 調査研究 他





# 機械職 Machinery

## ■ 業務内容

- ◆ 処理場およびポンプ場を健全に運用するための工事および委託の設計・管理監督
- ◆ 機器の劣化度調査
- ◆ 処理場の施設見学や小学校への出張教室、市町イベント対応などの広報活動
- ◆ 工事や委託等に伴う関係各所との調整

## ■ 主な施設の紹介

施設名	機器・設備	
水処理施設	各種ポンプ	汚泥掻寄機
	散気装置	砂ろ過装置
汚泥処理施設	各種ポンプ	汚泥濃縮機
	汚泥脱水機	焼却炉
共通施設	脱臭設備	自家発電設備



## 機械職のやりがい

修理工事の施工内容や工事費の積算、工期設定など、機器ごとに設計から工事完成まで責任を持って担当するので、1年目からやりがいのある仕事に携わることができます。

配属後の諸先輩方のサポートも充実しているので心配はいりません。

## ■ 季節ごとの業務内容

### 機械職（水再生センター）の主な1年の流れ

大規模工事の設計書作成  
大規模工事の次年度予算設計書作成  
小規模工事、委託の管理監督



～設計書の作成～

春

機器の劣化度調査  
小規模工事、委託の管理監督



～現場調査～

夏

～湧水期に集中する工事～

冬



大規模工事の完成検査  
小規模工事、委託の管理監督

秋

～工事に向けた準備～



小規模工事、委託の管理監督  
大規模工事の調整等



# 土木職

## Civil engineering

### ■ 業務内容

- ◆ 処理場およびポンプ場、流域下水道幹線等を健全に運用するための工事および委託の設計・管理監督
- ◆ 流域下水道の幹線管渠施設の地上点検パトロール（公道などにあるマンホール蓋の異常の有無等を確認します。）
- ◆ 処理場施設等の劣化度調査・点検
- ◆ 処理場の施設見学や小学校への出張教室、市町イベント対応などの広報活動
- ◆ 工事や委託等に伴う関係各所との調整



### ■ 主な工事内容について

施設名	工事内容			
処理場施設 ポンプ場施設	防食ライニング	防臭蓋補修	屋上防水	外壁補修
流域下水道幹線	マンホール蓋補修	人孔・管渠補修	-	-

### ■ 季節ごとの業務内容

#### 土木職（水再生センター）の主な1年の流れ

大規模工事、委託の設計  
地上点検パトロール



～地上点検パトロール～ 春

小規模工事、委託の管理監督  
異常箇所の補修



夏 ～マンホール蓋補修～

～施設点検パトロール～ 冬



工事、委託の完成検査  
各処理場、ポンプ場の施設点検パトロール

秋 ～工事検査～



大規模工事、委託の管理監督  
地上点検パトロール



土木職は、建築物の維持補修も行います！

各水再生センター配属の土木職は、土木構造物に限らず建築物の維持補修も行います。

一つ一つの補修工事を発注することで、各水再生センターの施設を長期にわたって運用する業務に携われて、やりがいを感じることができます。





# 電気職 Electrician

## ■ 業務内容

- ◆ 処理場およびポンプ場を健全に運用するための工事および委託の設計・管理監督
- ◆ 機器の劣化度調査
- ◆ 処理場の施設見学や小学校への出張教室、市町イベント対応などの広報活動
- ◆ 工事や委託等に伴う関係各所との調整
- ◆ 処理場電気設備の定期点検（停電停止）などの管理監督

## ■ 主な機器の紹介

電圧区分	機器・設備
特別高圧	66kV特別高圧受電設備
高圧	6.6kV高圧受配電設備、非常用発電設備、高圧インバータ等
低圧	低圧負荷設備、制御盤、監視設備（中央監視設備、テレメータ、シーケンサ等）、計装設備（水位計や流量計等）等

## 先輩からひとこと

電気職の点検では、先輩と共に実際の停電作業に立ち会うことになります。写真の点検では、各種盤内清掃やトリップ試験、保護継電器試験、絶縁抵抗測定等を行いました。実際に立ち会うことにより停電作業の流れを把握できるようになります。

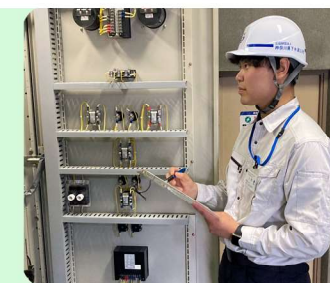


## 設計・管理監督について

処理場の適正な管理のため、年間で計画を立てて設備の改修を行っていきます。大まかな流れとしては、次のステップのようになっています。

### 計画

定期点検の結果や設備の重要度に応じて、様々な予定を立てていきます。



### 設計

発注図面の作成や工事仕様の決定など、工事の発注に向けて、各種設計を行います。



### 施工(監督)

現場施工の開始に向けて、設備停止や他の工事との調整を行います。  
施工計画が決まったらいよいよ現場施工に入ります。



### 検査

報告書が提出されたら、適正に工事が行われていたか、書類や現場の確認を行います。  
検査の結果、良好に施工されたことが確認できれば、全ての工事が終了となります。



※設計・管理監督については機械と土木も同様に行っています。



# 化学職 (水再生センター) Chemistry

## ■ 業務内容

- ◆ 処理過程における水質等の分析及び管理
- ◆ 処理場の運転状況に合わせた維持管理方法の調整
- ◆ 処理場で使用する薬品類の管理
- ◆ 維持管理結果の報告書作成
- ◆ 処理場の施設見学や小学校への出張教室、市町イベント対応などの広報活動



## ■ 主な分析項目

試験頻度	試験項目	
日常試験 (平日毎日)	pH	COD (化学的酸素要求量)
	残留塩素濃度	DO (溶存酸素量)
中試験 (週に1回)	大腸菌群数	SS (浮遊物質)
	窒素・りん関連	BOD (生物化学的酸素要求量)
	塩化物イオン	汚泥関連

その他、四半期・一年ごとの試験など様々な試験があります。



## 先輩からひとこと

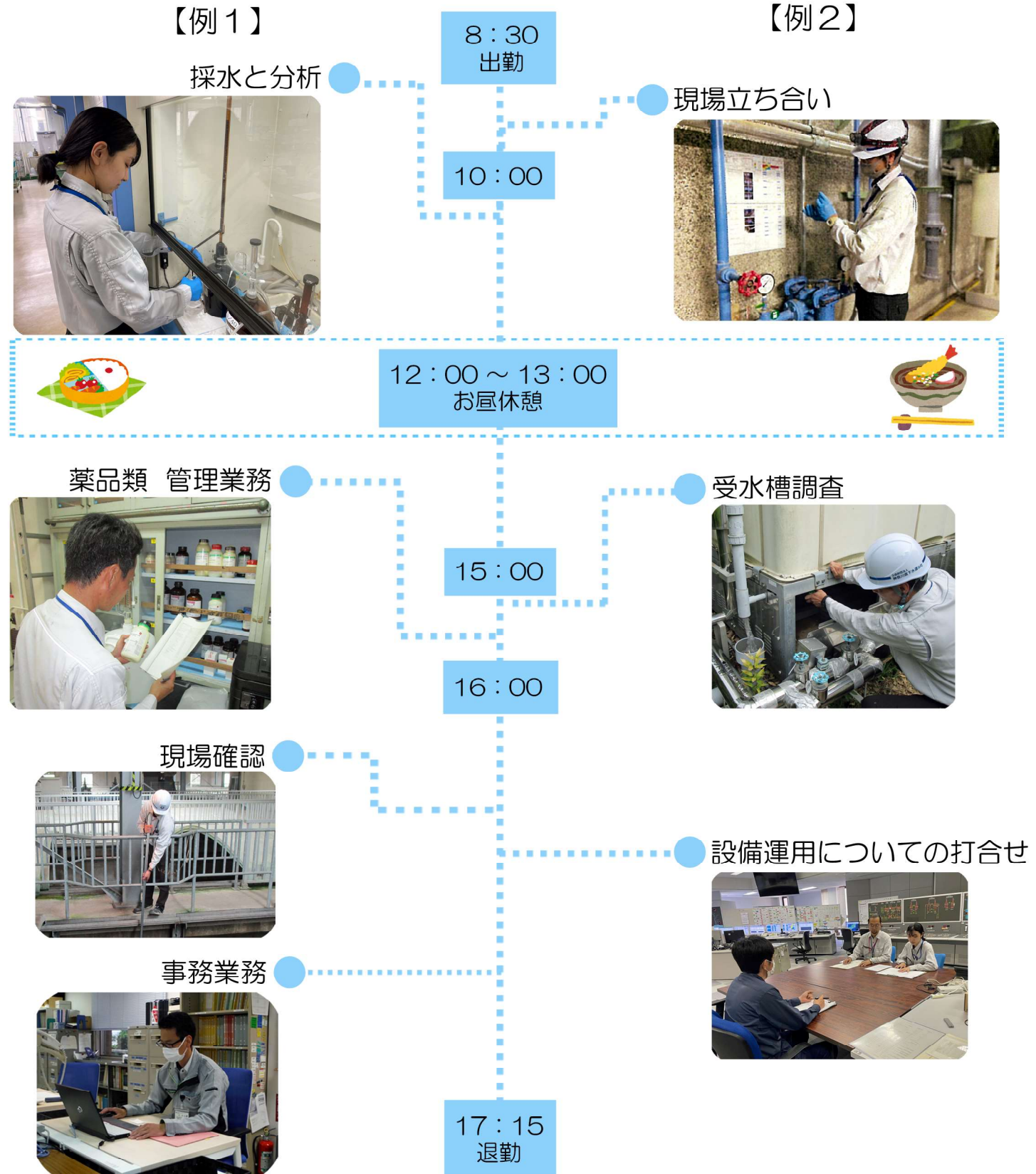
化学職は、水質分析をするだけでなく、処理場の運転管理や処理能力の確保、問題が発生した時の対応等も他の職種と一丸となって取り組みます。

また、処理場の運転予定を調整するのも化学職の仕事の一つです。



## ■ 時間別業務内容

### 化学職 (各水再生センター) のとある日の1日





# 化学職（水質課）

## Chemistry

### ■ 業務内容

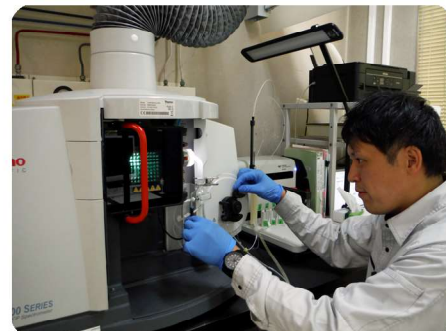
- ◆ 処理場に流れてくる下水や事業場排水の監視を目的とした水質調査
- ◆ 放流水などの水質検査や放流先への影響調査
- ◆ 下水を排出する事業場を監視する市町に対して助言や技術的な支援の実施
- ◆ 小学校への出張教室や市町イベント対応などの広報活動

### ■ 主な分析項目

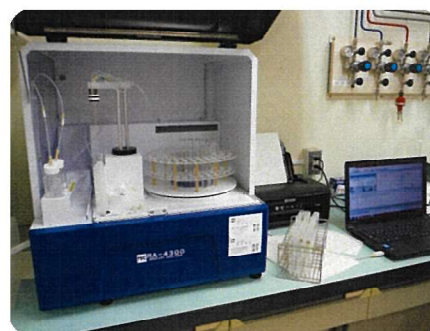
BODやアンモニア化合物、大腸菌群数、重金属、農薬、揮発性有機化合物などの下水道法などに基づく分析を行います。



ガスクロマトグラフ質量分析装置



誘導結合プラズマ発光分析装置



還元気化水銀測定装置



### 水質課からのメッセージ

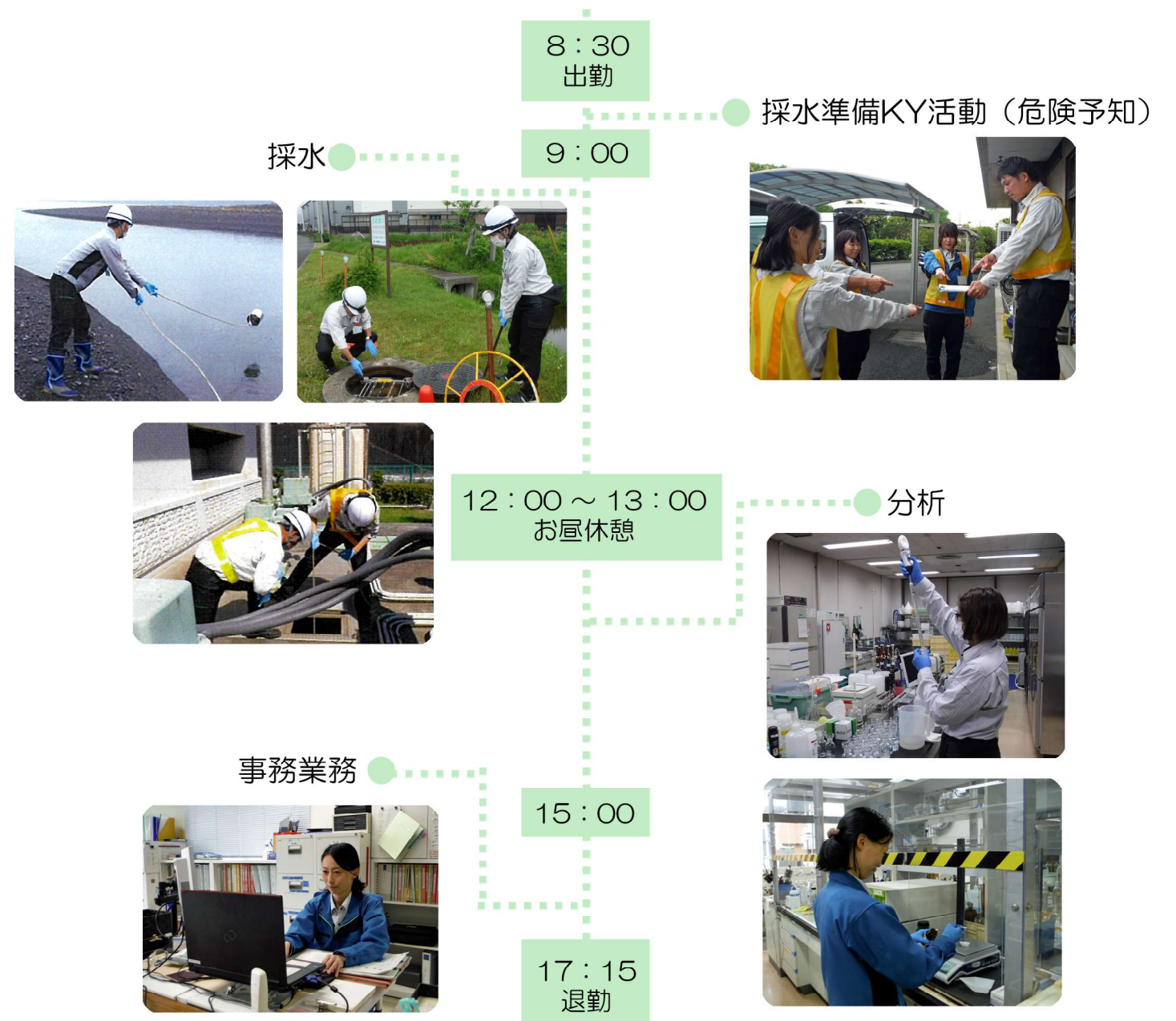
私たちが行う水質の調査・分析では、1つ1つの数値に責任を持つことが求められ、法律など学ぶことがたくさんありますが、地域に貢献できる、やりがいのある仕事だと思います。

また、水質課は、県内の市町村に対して技術的な支援を行うなど仕事内容は多種多様です。先輩にしっかりサポートして頂けるので未経験でも安心して働ける、アットホームな職場です。



### ■ 時間別業務内容

#### 化学職（水質課）のとある日の1日



### 水再生センター化学職と何が違う？

- ◆ 放流先や道路のマンホールなど、処理場外で採水し水質調査を行います。
- ◆ 技術的な支援の一環で流域市町の職員に同行し、事業場の採水や施設検査を行います。



# 事務職（総務課・企画課）

## office work

### ■ 業務内容

#### 総務課

- ◆ 工事や物品購入等に関する契約事務
- ◆ 予算の編成や会計処理、決算処理、給与処理等
- ◆ 規程の制定や改廃に関する事務
- ◆ 人材育成や技術の継承などの企画立案に関する業務

#### 企画課

- ◆ 評議員会・理事会に関する業務
- ◆ 小学校への出張教室、市町イベント対応、その他イベント等の広報活動
- ◆ 下水道技術者の研修対応
- ◆ 経営戦略、経営改善

### ■ 公社が行っている主なイベント等

#### ◆ 下水道ふれあいまつり

処理場を解放したまつりを開催しています。



#### ◆ 下水道作品コンクール

小学校4年生を対象に、下水道に関する「作文・ポスター・書道」の作品を募り、入賞作品は、広報に活用しています。



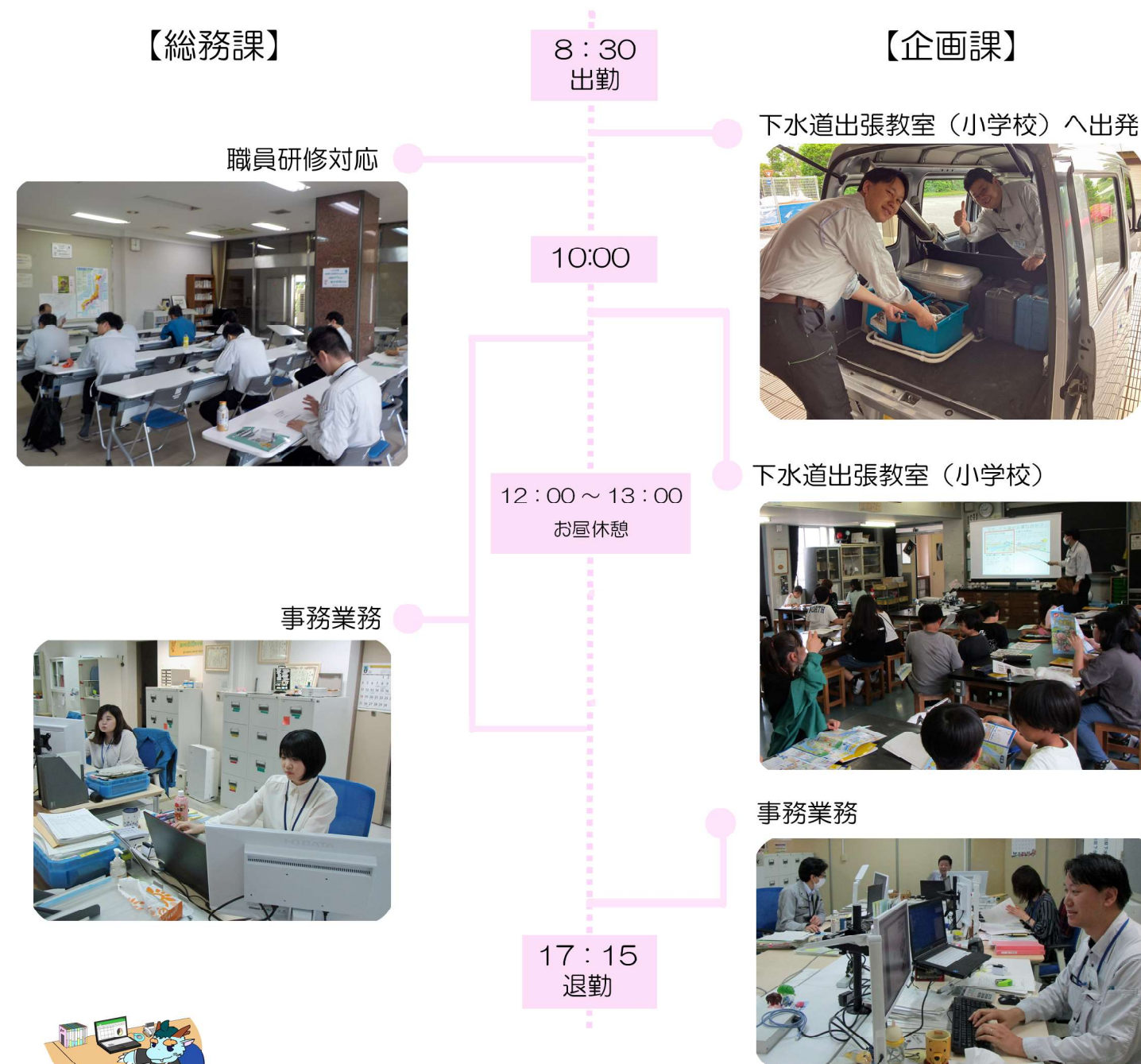
#### ◆ 下水道出張教室

職員が小学校に出向いて、下水道に関する説明を行い、下水道について理解と関心を深めてもらいます。



### ■ 時間別業務内容

#### 事務職のとある日の1日



#### 事務職からのメッセージ

下水道は、電気・水道・ガスと同様に、とても重要なインフラです。県民の皆様「下水道の大切さ」を伝えることで、環境保全に寄与したいと考えています。私たちは、技術職と連携し、「人材育成」や「技術の継承」に努めていきたいと思っています。



# 勤務にあたって

## Working Conditions

### ■ 勤務条件

勤務時間：午前8時30分～午後5時15分（休憩1時間）

休日：土日祝日、年末年始

休暇：年次有給休暇20日<sup>※</sup>/年、夏季休暇5日/年、その他休暇制度  
※ 4月入社の場合、初年15日（4月1日～12月31日分）

給与：神奈川県職員に準ずる

諸手当：地域手当、住居手当、通勤手当、時間外勤務手当、期末・勤勉手当等

### ■ 休暇制度

	制度名	内容
出産	産前産後休暇	産前8週（多胎妊娠の場合14週）、産後8週以内
育児	育児参加休暇	妻の出産前8週目（多胎妊娠の場合14週目）に当たる日から出産の日以後1年を経過する日までの間、5日以内
	育児休暇	生後1年6月までの間、1日2回、60分以内
	子の看護休暇	義務教育終了前の子の看護、5日（子が1人で小学校就学前の場合は6日、2人以上の場合は10日）/年以内
介護	介護休暇	6カ月以内、3回まで
	短期介護休暇	5日（要介護者が2人以上の場合は10日）/年以内
その他	慶弔休暇・ボランティア休暇・療養休暇・結婚休暇 など	



### ワークライフバランスを大切に！

- ◆日常的に休暇が取得しやすいよう、フォローしあう環境を整えています。
- ◆男性の育児休暇取得率100%（令和3～5年度実績）
- ◆女性は出産後の復職もしやすく、働きやすい職場です。



### ■ 研修制度

#### 新入職員研修（上半期に2回実施）

##### 総合研修

- ◆未経験でも安心して働けるよう、基本を大切にします。

施設見学・概要説明……管理するすべての施設を見学します。

安全衛生教育……安全用具の使い方や、作業において危険なことを学びます。

文書事務研修……文書作成の基本ルールを説明します。



##### 部署別研修

- ◆教育担当者と一緒にOJT方式で実務を行います。

新入職員には、必ず教育担当が付きます。

最初は戸惑うことも多いですが、先輩たちと一緒に、徐々に慣れていきましょう。



#### キャリアアップに向けた制度

##### 資格取得支援

- ◆資格の取得を応援します。

業務上必要とする資格を取得するための講習会の受講料や、受験に要する試験手数料などは、公社で負担します。

##### 外部研修

- ◆研修参加でスキルを伸ばします。

階層別研修、下水道技術取得研修（日本下水道事業団等）、資格取得研修などの外部研修があります。



# 採用に関するQ&A

Question & Answer

**Q** 職員の人数や、男女比はどのくらいですか？

**A** 常勤職員は70名です。  
事務職に7名、化学職に6名の女性が在席しています。

事務職	機械職	電気職	土木職	化学職
12名	15名	15名	5名	23名

**Q** 職員の年齢層はどのくらいですか？

**A** 全職員の平均年齢は46歳です。

直近5カ年の入社職員の年齢層

	20代	30代	40代
令和2年入社	1名	4名	1名
令和3年入社	2名	1名	—
令和4年入社	—	4名	—
令和5年入社	3名	1名	—
令和6年入社	2名	2名	—

**Q** 勤務地の変更はありますか？

**A** あります。  
4カ所の水再生センターを管理しているため、およそ3～5年ごとに所属の異動があります。  
事務職については、四之宮水再生センターのみの配属となりますが、他の職種は次のいずれかの勤務地へ配属となります。

- ・四之宮水再生センター（平塚市）
- ・柳島水再生センター（茅ヶ崎市）
- ・酒匂水再生センター（小田原市）
- ・扇町水再生センター（小田原市）

**Q** 休日出勤や夜勤はありますか？

**A** 所属によりますが、年に数回あります。  
日常的にはありませんが、大雨やトラブル、夜間作業、地域イベントの対応など、休日や夜間に出勤することがあります。  
  
休日・夜間に勤務した場合は、時間外手当の支給・振替休日の取得ができます。

**Q** 現場での作業が多い職場ですか？

**A** 事務職はデスクワークが中心です。  
技術職は、現場業務もありますが、デスクワーク（設計や資料作成など）や分析業務の割合が多い職場です。

**Q** マイカー通勤はできますか？

**A** できます。  
距離に応じて通勤手当が支給されるほか、敷地内の職員駐車場が利用できます。  
また、自動車以外にも、自転車、バイクなど、様々な通勤手段が使えます。  
（自転車通勤は10km未満に限ります。）

**Q** 育休取得の実績はありますか？

**A** 育休取得は男女共にあります。  
女性だけでなく、男性も含め、令和3年度から令和5年度までの育休取得率は100%です。  
また、女性職員は出産後に復職し活躍しております。

**Q** 持っている役につける資格はありますか？

**A** 施工管理技士、電気主任技術者、環境計量士、下水道検定などがあります。  
必須ではありませんが、車を運転する事が多いので、普通自動車運転免許があると良いです。

**Q** 服装の規定はありますか？

**A** 作業着があります。  
技術職員は出勤後に着替えるので、通勤は普段着でもOKです。上着は青(千鳥)と黒(千鳥)の2色があり、選ぶことができます！